

会議の名称	第4期第10回戸田市男女共同参画推進委員会
開催日時	令和6年11月21日（木）午前10時00分から11時30分まで
開催場所	上戸田地域交流センター3階 研修室
委員氏名	<input type="checkbox"/> 小野塚 加代 <input type="checkbox"/> 杉山 歩 <input type="checkbox"/> 茂呂 理絵 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 高木 美香 <input checked="" type="checkbox"/> 田口 香代子 <input checked="" type="radio"/> <input type="checkbox"/> 結城 剛志 <input checked="" type="checkbox"/> 大沼 公子 <input type="checkbox"/> 谷島 宏美 <input checked="" type="checkbox"/> 横田 秀子 <input type="checkbox"/> 加藤 ちあき <input type="checkbox"/> 橋爪 祐介 <input type="checkbox"/> 井上 明美 <input type="checkbox"/> 矢作 俊幸  （ ◎委員長   ○副委員長 ） （ □出席   ■欠席 ）
事務局	小林課長、清水副主幹、茂木主事
議題	<b>【報告】</b> （1）第五次戸田市男女共同参画推進計画の進捗状況調査結果について （2）戸田市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の自治体間連携について （3）ピンクリボンフライイベントにおける啓発活動の結果について <b>【議事】</b> （1）子ども向け条例パンフレットの内容について （2）今期の委員会取組事項のまとめについて （3）その他
会議の経過	会議の詳細は別紙のとおり
会議資料	・次第 ・第五次戸田市男女共同参画計画改訂版目標値管理シート ・議事 ・条例パンフレット（素案）

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
	開会
	委員長あいさつ
事務局	<b>【報告】</b> (1) 第五次戸田市男女共同参画推進計画の進捗状況調査結果について資料に基づき説明
委員長	報告事項ということですが、皆さまからご確認いただきたいことがありましたら、ご質問等お願いいたします。
委員	この横の表の目標値管理シートですが、新規というのは、いつから入ったものが新規なのですか。 数値が%で満たされているところの目標値と進捗状況のところ、例えば、一番上の、市内の全中学校で異性の尊重について学ぶ機会をつくります新規というのは、5年度からということですか。
事務局	確かにこの指標値の新規については、いずれも元年度からは数値として結果値が入っております。5年度からということではなくて、第五次計画からであると認識しています。新規というのがそぐう言葉ではなく、この管理シートから取ることもできようかと思いますが、一度このあんさんぶるプランのひとつ前から変えた評価値という認識でございます。
委員	見ながら少しだけ疑問に思いました。ありがとうございます。
	(2) 戸田市パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の自治体について
事務局	資料に基づき説明
委員長	ありがとうございます。パートナーシップ制度が少しずつ根付いてきているということによかったと思います。ただ、感想なのですけれど、連携する自治体が思ったより少ないです。それから自治体はどういう区分で皆さん入られているのか。

事務局	<p>ありがとうございます。今回、大阪・京都・兵庫の3県が連携をしている中で、そこに参加しませんかというお知らせが県を通して各自治体に来たのが、加入のきっかけです。関西圏では既存の連携ネットワークがございました。また、パッと見、自治体数でいうと210という言い方をしているの、少なく受け取られてしまいます。ですが、実は県単位で入っている自治体も多く、そうしますと県が表に立って届出を受けることで県内自治体が網羅されていると捉えられます。埼玉県は県がやるのではなく各基礎自治体という扱いになっておりますけれども、県が入ることによって広く連携できている自治体もございます。</p>
委員長	<p>では、皆様からご意見やご質問がありましたら挙手をお願いいたします。この連携ネットワークというのは、会議体みたいなものがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>県内では、性の多様性会議という会議、県内各種の課長職で構成します。全国連携に関しましては、母数が大きいこともあって、各ブロックで幹事市を定めて、幹事会という形で運用がされる見通しです。埼玉県は、さいたま市が幹事市を担っていただきました。11月1日スタートですので、今後は実効性がある取り組みになっていこうかと思っております。</p>
委員長	<p>これを見ると、東京都はないのですか。</p>
事務局	<p>はい、連携対象自治体ではありません。</p>
委員長	<p>千葉とか神奈川も限定的で、一部の気持ちがあった自治体のみということですね。これはシステム上とか、組織上できなかつたということで、理解が得られてないというわけではないのですか。</p>
事務局	<p>各自治体で大多数がパートナー制度というのは備えておりますが、こういった理由でこの連携に入らなかったかは、わかりません。埼玉県内の中では、やはり関西圏ですとあまり行き来がないと思われるとか、様子見のような自治体さんもあると聞いているのですが、今お話があがった自治体については、こちらでは把握できておりません。</p>
委員	<p>ちなみに戸田市は、都内と行き来があるので、今後の連携についてはいかがですか。</p>

事務局	東京都に対し、戸田市独自で声をかけるか、それとも埼玉県内連携の中で一緒にやろうという声掛けに発展していくかは、課題のひとつでないかと考えております。
委員	東京都は特別区を含めて、単独で実施されていると思うのですがけれども、ネットワークに参加していないパートナーシップ制度がどの程度存在しているか、ご存知でしょうか。
事務局	具体的な実数は把握できていないですけれども、昨今パートナーシップ制度を備えていない自治体の方が少ない印象を受けております。
委員	すごく単純な発想なのですが、戸田市でパートナーシップを取ったパートナー同士が都内に引越しをしたいとか、この制度を使用したという場合は認められないわけでしょうか。
事務局	決して認められないということは無く、戸田市に対しては返還手続きをし、新しい居住地の制度について申し出なり、宣誓していただく形になります。
委員	このパートナーシップ制度で、実際にできるようになったことは、増えてきていたりするのですか。
事務局	制度を利用していることによる効果ということであれば、例えば戸田市内では、公立病院における病状報告にある程度、その受理証を出すことによって、家族としての認識をしてもらうといったことが挙げられます。
委員	制度導入時以降増えていないのであれば、民間と協力するなどして工夫するようにしていただきたい。
事務局	わかりました。ありがとうございます。
委員	その他に何かございますか。では次の議題に進みます。
事務局	(3) ピンクリボンイベントにおける啓発活動の結果について資料に基づき説明
委員長	ご報告ありがとうございます。

	<p>市民から大変好意的なコメントが多く寄せられたということで、よかったと思います。ご参加いただいた委員、何か実際に運営してみても気づきの点などありましたらご紹介いただけますか。</p>
委員	<p>中庭のイベントには観覧者がたくさんいるのですが、啓発ブースを通る人はものすごく少なかったので、時間がかかりました。</p> <p>ただ、例えばご夫婦と一緒に、お父さんと娘さんなど親子もいらっしゃいました。興味を持ってくださり、このクイズに参加して下さる方には少し説明をし、「あ、そうなんだ」「へえー」みたいな感じでアンケートを答えていただきました。あまり難しくなく簡単でしたので、文章で「こうなのよ」というよりも、気軽に接してみて「ああ、そうなんだ」というのがいいのかなと思いました。先ほど目標数でもあいパルが拠点であるという数字が少し低いみたいだったので、拠点であるという周知も含めて、このような啓発を継続していけたらいいと感じました。皆さん楽しんでいただけているのかなというのは感じましたし、私も楽しくやらせていただきました。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>他に何かございますか。</p>
委員	<p>普段からあいパルにお越しになって下さっている方々はもちろん、ピンクリボンフラのイベントを目当てでいらした、あまりお顔を拝見しないなという来館者の方々もいらっしゃいました。あいパルに元々来てくださっている方には改めて、男女共同参画推進拠点ですということを伝えられたと思いますし、あいパルに初めて来たという方にも知っていただく、よい機会だったのではないかなと思います。楽しく皆さんクイズをやって、楽しんでいただけた様子でした。本当にありがとうございました。</p>
事務局	<p><b>【議事】</b>（１）子ども向けの条例パンフレットについて 資料に基づき説明</p>
委員長	<p>ありがとうございます。カラー刷りの方が前回バージョンを直したもので、今回新たなご提案を別刷りでご用意していただいているということですね。</p>
事務局	<p>案をご確認いただき、掲載内容についてある程度のご希望をいただければ、基本的には最終的に事務局で進めさせていただきたいと思っております。内容が固まり次第、教育委員会にも事前にチェックをいた</p>

	だいて、小学5年生に配布する内容として適切かについて意見を聞く予定です。
委員長	2つお尋ねしたいのですが、庁内でどういったご意見があったのかということと、新たに提出していただいたバージョンの方が好評だったのででしょうか。
事務局	<p>庁内で出た意見といたしましては、使っている言葉の難しさや、ルビを振る・振らないとか、小学5年生に向けて適切かということをよく確認をするようにという意見が1つ。</p> <p>もう1つは、悩んでいる当事者が仮にいたとして、そういった方に寄り添える内容であるか、というご意見でした。第三者目線だけではなく、当事者がこれを読んだ時に、どういうふうに自分達の困りごとが解消するのだろうかといった、その先の相談先がわかるような内容だといいのではないかという意見です。</p> <p>庁内検討会議で2つの案を提出したわけではなく、事務局内の会議で出た意見を勘案し、2案目を作成いたしました。</p>
委員長	<p>庁内のご意見を素直に反映させるとすると、現行のカラー刷りのバージョンの言葉の難しさを無くしてルビを振る。小学生の娘にも見てもらったのですが、漢字が読めないと言われたので、そういう意味での読み方の難しさもあると思います。字数のハードルもあります。</p> <p>相談先が必要だというのは、それなりに納得感のあるご意見ですので、こちらのバージョンのところは反映させてもいいのかなという感じは受けました。</p>
事務局	補足として、前回会議では漫画のパンフレット、イラストで簡単に簡潔かつ明瞭にというご意見、そして当事者の相談というご意見も出ておりました。
委員長	私の感覚としては、最近は大学生向けの文章でもかなり漢字を減らしています。思い切って漢字はルビというよりも使わなくていいのかなという印象です。
委員	別に漢字にこだわらなくてもいいのかなと感じます。実際に相談できる先につながるということではないかと思えますし、例えば、身近な大人に相談してみようとか、学校で配布するのであれば保健室とか、相談員さんとか出てきてもいいのかなという感じは受けました。

	<p>私はこちらの新しい案を見ていて少し気になるのが、「男なのにメイクをしていると女みたい」とか「料理できないの、無いわ」といったニュアンスでなく、むしろメイクしたい、ネイルもしたい、料理もしたいでいいのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>男女共同参画の本当の考え方の基本の一番のところを何とか小学生にも、大元をわかってもらって、というのが趣旨だと思います。ベースに「みんなが認め合って支えていく、みんなが一緒なのだ、いろんな方、多様ないろんな方がいてもみんな、認め合いましょう」というのがあって、男の子っぽいとか女らしいとかとかいうのも、そうではなくて「個性でしょ」という、小さい子が最初から男らしい女らしいということで差別してはいけないのだ、だけになってしまうのもどうかという気が少ししました。</p>
<p>事務局</p>	<p>おっしゃる通りで、ニュアンスによって伝わるメッセージが変わります。よろしければ、その方向でいきましょうという方向性の決定に係るご意見があればありがたく頂戴いたします。</p>
<p>委員</p>	<p>どちらかということですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>いいえ、どちらかに決めてくださいということではございません。伝えたい想いや内容に関するご意見をいただき、改めて原稿を作らせていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>高校生が、「あの何々ちゃんの彼女がね」というのですよ。私たちみたいな世代の、いわゆる男の子が女の子を好きなら好き、女の子が男の子を好きになるというのだって全然そんな意識が無いようです。このページのLGBTQ部分は、正直言葉だけ知っていれば、半ページも取らなくてもいいのかなと思って。1人、個人のことを大事にする気持ちがあれば、その人を好きになるのは当たり前のことなので、「だから、差別しないでね」というのは別にいわなくてもいいかなと。悩みへの対応や相談先は入れるべきだなとは思いますが、「差別関係ない、性差別関係ないよね」「個人の、お互いの気持ちを大切にしようね」でいいのではないかと。悩んだり苦しんだりしている子というのは、身近にそれを許さない大人がたぶんいるか、子どもがいるかとか、認めてくれない人がいるから困っているのだと思うので、そういうときにヘルプが出せるようにとか、出してねというメッセージが送れたらいいかなというのはあるかと思うのですけれども。</p>

	<p>あとちょっと怖いなと思ったのは、LGBTQとかの理解というのが難しいのですが、何々な人という言い方をするじゃないですか。でも変わっていくことはあるではないですか。例えば、小学生くらいで揺らいでいて、中学生とかでも揺らいでいて、最終的にどうなるかわからないような状態で、「私ってレズビアンなのか」みたいなのをバシッとあてちゃうというのは、ちょっと怖いなという気がします。</p>
<p>委員</p>	<p>カテゴライズするよりも、濃いグレーの人と薄いグレーの人がいて、男の子も好きだし、女の子も好きだしという人もいて。だから別にそのときどきでどれであっても、尊重されるべきだし、「別によくない？」というので、どれに該当しているからどうということよりは、「どれであっても、みんないいよね」というところに決着するのがいいような気がするのですよね。</p> <p>ただ、性別は関係ないとか、ということはむしろこの作っていただいた後ろのチェックリストとかで、このチェックリストのところ男女共同参画の根本的な部分ではあるかと思うのですけれども、結構難しい、人権全体のお話、みたいな項目になっていたりもするかなと思うので、それも性別は関係ないみたいなことはこっちに入れてもいいのかなとか。</p>
<p>事務局</p>	<p>裏表紙については、前回の会議で他自治体の例を委員さんが熱心にお調べくださりましたし、他の皆様からもご意見いただいたので作成したものです。</p>
<p>委員</p>	<p>私個人的には、中は従来案がベースで、問い合わせ先が入ってくるくらいでいいのではないかなとか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。多様な選択肢を相談先として、中面どこかに落とし込むようなかたちでもよろしいですかね。素案としてにじいろ県民相談やあいパルって出したのですけれども、小学5年生が自分で電話できるかという問題もありますので、載せている内容は原則変えず、レイアウトを検討させていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>文字多いですよ。でもみんないいこと書いてあって、今どれが取れるかなと思ったら、取れないのですよね。</p>
<p>事務局</p>	<p>やはりフリガナをふればいわけではないということは、皆さんもご認識の通りかと思うので、他に、ここは重複しているから載せなくて</p>

	<p>もいよいよね、チェックリストで融通できるよね、みたいなことがあればご意見いただけるとありがたいです。</p>
委員	<p>情報量を思いっきり減らしたいです。例えばLGBTQは載せないとだめですかね。</p>
委員	<p>前回会議で、ここも載せた方がというご意見だったと思います。全体のバランスとして、載せるのであれば、もっと大きな字で載せてほしくて、説明文もちょっと検討が必要かなと思います。</p>
委員長	<p>一致しないため違和感を持つ人とかも、大人向きのところから引っぱってしまっていますね。ちょっと直接的すぎるし、単にこういう人と決めつけないという方向性で。</p> <p>例えば、せっかく作っていただいたのに申し訳ないですけども、チェックリストと保護者の皆様へも全部カットして、ここに大きくバーンと入れるとか。とにかくいろんなことが言いたいパンフレットになってしまっているの、もう少しコンパクトな内容の方がいいのかなと思います。小学5年生だと、受け取れる情報量がかなり少ないので、全部読んで理解するところまでいくとは思えないですね。</p>
委員	<p>LGBTQが、何らか入っていてほしいというのはやはり見ていて思うのです。「男だから、女なのにじゃないよね」ということを繰り返し伝えていると、やっぱり男と女というものしかないみたいな出し方になってしまうので、他にもあるのだよというのほどこかに入っていた方が、絶対にいいと思うのですが、情報量多いですもんね。後ろいいじゃないですかね。あと、この吹き出しが、ちょっとうるさいです。</p>
委員	<p>「洗濯ものがきれいになると気分がいいね」とかは別にいらないのではないかとか。</p>
委員	<p>絵だけでわかる、例えば「料理をするのが好きだよ」もエプロンしている男の子だけのイラストでいいのではないかなと思ったり、白バイの女の子、吹き出しなくても使えるかなと思いました。あと、一番下の「男女共同参画について、本で調べたり勉強したりして、自分にできることを考えていきましょう」これも要らないのでは。</p>
委員	<p>それを入れるのであれば、あいパルの近くはどうですか。</p>

委員	そうですね。渡して開けてまず見てもらうことが、と思うのであれば、「自分でやってね」というのは、放り投げている感が印象として。
委員	多分これを見てわざわざ本で調べたりする子は、ある程度当事者意識がある子だと思うのですよ。だからもっと知りたいと思ったら、例えばあいパルや図書室に本がありますといった内容はどうですか。
委員	本当に悩んでいたら学校の図書室でそれを借りられるかという微妙かもしれないし、図書室にもあるのでしょうかけれども、あいパルで読めるとなったら嬉しいかもしれないと思います。
委員	吹き出しにつきましては、私も吹き出しはいらないのではないかと思います。男女共同参画について本で調べたりというところなのですが、今のお二人の話をお伺いして、「あいパルに聞きに来てね」くらい書いて入れていただいてもよろしいかなと思います。
委員	チェックリストの1番の、料理や掃除のできる人がやればよいという言い回しが気になります。結局最終的にやる人しかやらなくなるみたいなどころが見え隠れしており、ではどういういい方にしたらいいのかというところまでは、今すぐ出ないのですけれども、少し気になりました。
事務局	そのチェックリストというのは前回何名からお話いただいて、変更事例ということで作成しましたが、先ほど委員長からあったように、ここをなくすと今回の会議で決めていただければ、もうそれで大丈夫です。
委員	前回私、おそらくチェックリスト入れたらみんなで見るとはならないかという提案、家族でこれをやってみようというので入れたのですけれども、先ほど委員長がおっしゃったように、LGBTQについて、そこに紙面を割くというのはいかなど、細かい文章だとたぶん見過ごされてしまうので。書き方については難しいですね。小学生でもわかるような言葉にするのは難しいのかもしれませんが、あと「どのくらいいるの？」この20人に1人というのは、私はそんなのだと思ったので、小学生でもそんなにいるのだという判断基準といますか。言葉として知っていて、会ったことはない。でも誰も言わないけれども実はいるよ、というような認識はできるのかなと思ったので、チェックリストは家庭科の授業でもやっているのだとすれば、

	<p>ここを新しい説明に置き換えるということをする、もっと紙面が変わって広がるのかなと思いました。</p>
委員	<p>このLGBTQの20人に1人というのは、何を出典にしているのですか。</p>
事務局	<p>インターネットで担当の方で調べた内容であるのですが、実際パンフレットに落とし込むということであれば、出典が必要であると認識しています。調査により、結果に幅があるようです。</p>
委員	<p>以前の会議でありましたよね。左利きの人は何人に1人で、メガネをかけているのが何人に1人で、LGBTQはそれと同じだというような。リアルな数字だとしたら、クラスに1人か2人は絶対にいるということだから、具体的に子ども達はわかりあえていいかもしれないですね。</p>
委員長	<p>LGBTQの統計は、どのようなかたちで数字が出てくるのでしょうか。</p>
委員	<p>私的には、男女差別のものと、LGBTQのことというのは全く別のものなのではないかなと思うので、混ざりすぎてないかなと思うのですよね。先ほど委員長がおっしゃっていた一番後ろの方にLGBTQを入れて、中のページを、男女差別をなくそうという内容に統一してあげた方が、いいと思うのですよね。</p> <p>性の多様性と、男らしさ、女らしさというのが全く別問題となってきてしまうので、それこそあまりにもLGBTQに対して詳しく小学生に説明してしまうと、例えばずっと女友達が、決まった子がずっと一緒にいるとなると、「あの子レズじゃない？」とかいう揶揄というものが発生するのではないかと危惧しているのですけれども、だからいつも決まった友だちと一緒にいられなくなってしまうというか。何となくこう書いておいてあげて、あまり大きく取り上げなくてもいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>確認させていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>内容に関して、中面のところなのですが、見出しとか、見てわかるイラストをつけることにより、吹き出しによる補足はなしにして、その分字を大きく、伝わるようにレイアウトをするというかたちにします。内容も男女共同参画のパンフレットでございますので、特に性的少数者のことを取り上げるのは裏面にして、悩みごとがあったら相</p>

	<p>談というのをここに持ってきてよろしいですかね。</p> <p>中面の角にあった、自分で調べたり本を読んでというところは、あいパルへの誘導というかたちでレイアウトさせていただきまして、大切にしてほしいことやルールづけといったニュアンスは変えずに、進めさせていただくで、よろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>大切にしてほしいこととルールについても、いいのではないかなと思います。吹き出しは、必要なものは残し、具体的な話の部分や同じことを2回書いているようなものはいらないうところですよ</p> <p>ね。</p>
事務局	<p>精査して重複しているものは見直します。今後12月中に校正原稿が出せる場合は、現任期の皆様にもメールでお送りして、個別でご意見いただいたものを次につないでいくようなことを、させていただいてもよろしいでしょうか。</p>
委員長	<p>12月中に書類で見せていただけるということですね。</p>
事務局	<p>印刷事業者との都合上、必ずしも任期中に構成原稿を出せるかという絶対のお約束はできないのですが、もしその任期の中でしたら、お願いできればと、なるべく間に合うように進めようと思います。</p> <p>他に色合いなども、何かもしご意見があれば。</p>
委員	<p>好みもあるのですが、この吹き出しが残るかどうかはさておきなのですが、それぞれの個性を大切にしましょうとかが、ふによふによした吹き出しで青字なのは、やはりネガティブな感じなので。</p>
委員	<p>そうですね。青とこのふによふによしたのは、別の方がいいなと思います。スカートが好きな女の子もズボンが好きな女の子もいるよ。</p>
委員	<p>ビリーちゃんとリブちゃんの吹き出しの中の発言が、少し哲学的すぎて、わかるのですが、個性を大切にしましょうといわれたときに、子ども達がどう大切にしていなのか、たぶん受け止め方が難しいのかなと感じます。性別で区別するのはやめようというのも、性は違うので区別せざるを得ないですから、趣旨がとりにくい。非常に難解な問いを立ててしまっている。</p>
事務局	<p>全体的に左右ともに、吹き出しの見直しが必要かなというご認識です</p>

	かね。承知いたしました。
委員長	この右上のもいじめられたら、1人で抱えこまないで誰かに相談しようというの、別にいじめられなくても相談していいよ。いじめられなくても大げさかなとか思わなくていいよ」みたいなのは、感じます。
委員	いじめられたらここに入れなくていいのじゃないかな。いじめは自分が認識して初めていじめになるので。「いじめていない」みたいな「友達じゃない」みたいなこと言い出す、とかもありますからね。 「言葉や言動で相手を傷つけてはいけません」だけでいいですね。
委員	先ほどおっしゃった小学5年生だと、いじめたりというのをどうとらえるかはわからないから、「言葉や行動で相手を傷つけてはいけません」の方が、小学生はおもしろおかしく茶化したり、それはダメなのだ、傷つくのだなどというのがわかるかなと思いました。 イラストと吹き出しの工夫だなど、そういう感じですね。それをうまくバランスをとって。
事務局	いろいろなご意見をいただきましたので、反映させていただいて、またご報告をいずれかのタイミングでさせていただきたいと考えております。
委員長	修正の作業は大変だろうなと思うのですが、できれば議論の経緯を知っている現任期の委員が確認した方がいいと思いますので、ご配慮いただけるとありがたいです。
事務局	(2) 今期の委員会取り組み事項のまとめについて 資料に基づき説明
事務局	(3) その他について 1点目につきましては、第4期の委嘱を解く通知と、第5期の委員を継続していただく方への連絡につきましては、今後個別に行いますのでよろしく願いいたします。 2点目につきましては、協働推進課において課内異動がありましたので、よろしく願いいたします。以上となります。
	閉会